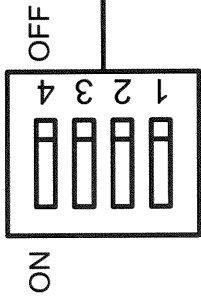


発振切り替え用ディップスイッチ



1ピンと2ピンがOFF：スワイプ連続発振モード

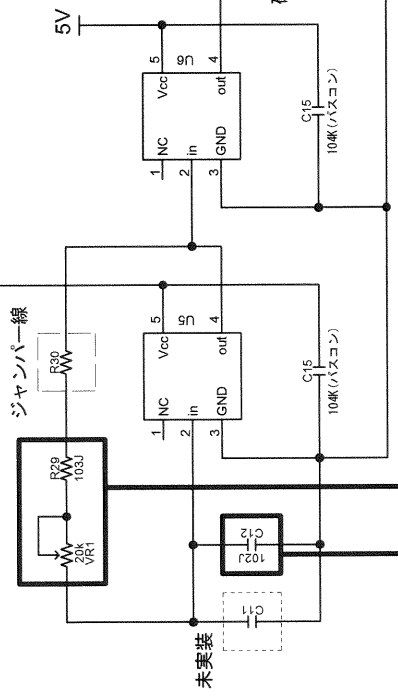
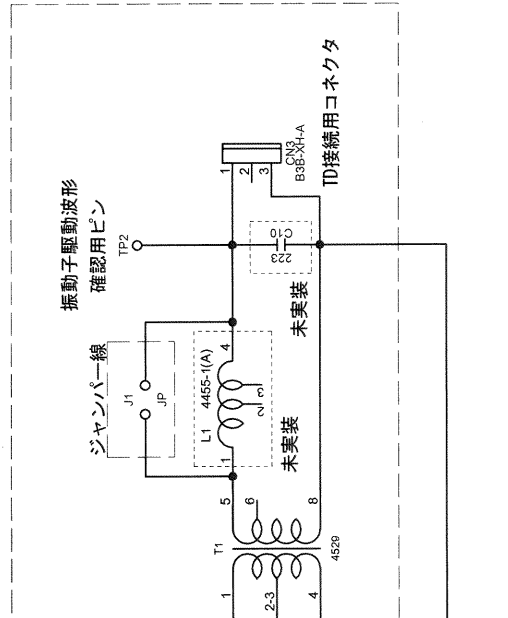
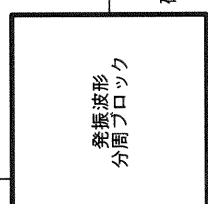
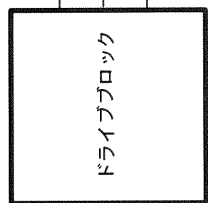
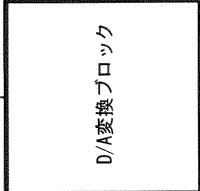
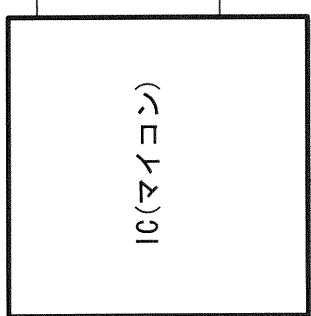
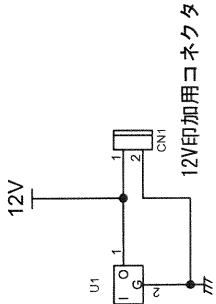
1ピンのみON：他励連続発振モード

2ピンのみON：スワイプバースト発振モード

1ピンと2ピンがON：他励バースト発振モード

※3ピンと4ピンはON、OFF状態での設定をしております

※駆動中にON、OFFを切り替えても発振モードは変わりません
 発振モードを変更したい場合は1度電源をOFFにしてSWを切り替えて下さい



抵抗値を大きくすることで周波数が低くなります。
 抵抗値を小さくすることで周波数が高くなります。
 静電容量の値を大きくすると周波数が低くなります。
 静電容量の値を小さくすると周波数が高くなります。
 ※変更できる周波数の値には限度があります。

本キットの発振する周波数は分周後の値になります。
 本キットの抵抗R29、VR1とコンデンサC12の値を変更することで周波数の値を変更することができます。
 また、R30のジャンパー線を取り外して抵抗を実装する、C11へコンデンサを実装することでも周波数を変更、調整が可能です。
 L1へチョークコイル、C10へコンデンサを追加しLC共振にすることでより効率の良い発振が可能です。
 L1実装時はJ1のジャンパー線は取り外してください。
 オシロスコープで波形の確認を行う際はTP1、TP2、TP3、TP4はプラス側と接続し、マイナス側はTP5と接続して下さい。

モノリスシリーズ1 振動子駆動キット 簡易ブロック図